



平成 29 年 10 月 10 日

各 位

会社名 株式会社竹内製作所
 代表者名 代表取締役社長 竹内 明雄
 (コード：6432 東証第一部)
 問合せ先 経営管理部長 小林 修
 (TEL 0268-81-1200)

平成 30 年 2 月期 通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 4 月 11 日付「平成 29 年 2 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表いたしました平成 30 年 2 月期(平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日)の通期の連結業績予想について修正しましたのでお知らせいたします。

また、平成 29 年 10 月 10 日開催の取締役会において、平成 30 年 2 月期の期末の配当予想について修正することを決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 2 月期 通期連結業績予想(平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり当 期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 85,700	百万円 11,700	百万円 11,500	百万円 7,900	円 銭 165.66
今回修正予想 (B)	90,000	12,650	12,700	8,800	184.53
増減額 (B-A)	4,300	950	1,200	900	—
増減率 (%)	5.0%	8.1%	10.4%	11.4%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 2 月期)	83,000	13,404	11,722	7,757	162.07

修正の理由

当社グループの欧州でのミニショベル及び油圧ショベルの販売が、上期において好調に推移し、下期も引き続き前回予想を上回る見通しとなったこと、及び為替レート(英ポンド及びユーロ)が、前回予想より円安に推移することを想定し、売上高は 43 億円増加し 900 億円になる見通しです。

利益面では、売上高の増加見通し、想定為替レートが円安に推移すること及び営業外費用の為替差損の減少を見込むことにより、営業利益は 9 億 5 千万円増加し 126 億 5 千万円、経常利益は 12 億円増加し 127 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は 9 億円増加し 88 億円となり、それぞれ前回予想よりも増益となる見通しです。

第 3 四半期以降の為替レートは、1 米ドル=110 円、1 英ポンド=146 円、1 ユーロ=128 円、1 人民元=16.6 円を前提としております。

(前回予想では 1 米ドル=110 円、1 英ポンド=137 円、1 ユーロ=118 円、1 人民元=16 円)

2. 配当予想の修正について

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (平成29年4月11日発表)		29円	29円
今回修正予想		32円	32円
当期実績	0円		
前期実績（平成29年2月期）	0円	26円	26円

修正理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けております。経営体制の強化並びに今後の事業展開に備えるために重要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続に努めることを基本方針としております。このような基本方針及び平成30年2月期の業績見通しを勘案した結果、期末の配当予想を1株当たり32円に修正いたします。

なお、前期実績より6円の増配となります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上